

地域計画

策定年月日	令和7年3月17日
更新年月日	— (—)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	紫波町 (03321)
地域名 (地域内農業集落名)	日詰 (鍛冶町、寺小路、街道、西裏)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	68.40 ha
① 農業振興地域のうち農用地域内の農地面積	50.97 ha
② 田の面積	50.97 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	5.37 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

(現状)
・町の中心部に位置する水田地帯であり、水稻は特別栽培、減農薬栽培に取り組み生産コストの低減に努めている。
・ほ場整備事業によりほとんどの水田が30a区画で整理され、用水供給のためのパイプラインや農道も整備されており、地域が平地地帯であることも相まって、作業効率の良い農業が展開されている。
・地域内農地は、集落営農組織(地区内1、地区外4)や認定農業者(地区内1、地区外3)等の担い手農業者により耕作されており、担い手への集積率は高い状況にある。
(課題)
・担い手農業者への農地集積は高い状況にあるものの、農業経営者や耕作作業者の高齢化、後継者不在など、現状の農業経営や営農活動を続けられるか不透明である。
・水田転作として小麦の栽培を行っているが、長年同じ圃場で栽培を行っているため、雑草の多発や縞萎縮病の発生により減収傾向となっており、今後の防除対策が課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・水稻(うるち米)を主要作物としつつ、引き続き集落営農組織による小麦、WCS用稲の作付けを行う。
・地域内農地はほとんどがすでに担い手農業者へ集積されているため、今後は担い手農業者が耕作を継続できるよう、耕作者が働きやすい環境づくりとして、農地の集約化(団地化)や耕作条件整備を進める。
・上記と併せて、地域外からの就農を希望する認定農業者や認定新規就農者を受入れると同時に、地区内でも農業を担う者を募り、地域全体で農地を利用する仕組みの整備を進める。
・当地区は多様化した職業階層が混在する地域であり、オガール等の多目的施設や住宅地も増えていることから、今後は農業利用以外の土地利用方法についても検討を進めていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手(集落営農組織、認定農業者、新規就農予定者等)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手だけでなく多様な経営体も含めた地域全体での農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	77.90	%	将来の目標とする集積率 80 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
既存の団地に隣接する形で農地の集積を進め、併せて担い手同士の農地交換を基本とした集約化に取り組むことで、担い手の作業効率を向上させ、経営コストの低減を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積・集団化の取組
担い手を中心に農地集積・集約化を進める。特に集約化については、既に担い手毎にまとまっている団地をベースとして集約が進むよう、農地利用最適化推進委員や岩手県農業公社農地コーディネーターと調整しながら、農地集積・集約化の取り組みを進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地所有者の意向を確認・尊重しつつ、段階的に農地中間管理機構による貸借を進める。
(3)基盤整備事業への取組
既に基盤整備事業が実施された区域であり、現状では農家負担等も考慮すると大規模な基盤整備事業の導入は困難である。よって、地区内のほ場や水路、農道毎に現状と課題、必要な整備を把握し、各種補助事業を活用して担い手が働きやすい環境を整備していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
現在の担い手農業者の後継者の意向を確認しつつ、行政やJAなどの農業関係機関と協力し、地区内外から就農を希望する人材を積極的に募集、確保していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現時点では事例が少ないため、行政等関係機関からの情報提供を受けながら、農業支援サービス事業者の活用も検討を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
⑦地区内の保全・管理については、多面的機能支払交付金活動組織である「日詰地区環境保全組合」と連携、協働し、地区内の農地や農村環境を守る取組を進める。				
⑧地区内を流れる排水路の整備が求められていることから、行政への要望、補助事業の活用を検討し必要な整備を進める。				
⑨地区内で作付けした飼料作物を周辺畜産農家へ供給し、家畜排せつ物由来堆肥を利用することで、地域内循環型農業の取組を進める。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4. 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 認定農業者1	水稲、小麦、WCS	3.47 ha	ha	水稲、小麦、WCS	3.47 ha	ha	認農1	
2	認農 認定農業者2	水稲、繁殖牛、飼料作物	2.28 ha	ha	水稲、繁殖牛、飼料作物	2.28 ha	ha	認農2	
3	認農 認定農業者3	水稲、飼料作物、野菜、小麦	0.89 ha	ha	水稲、飼料作物、野菜、小麦	0.89 ha	ha	認農3	
4	認農 認定農業者4	水稲、果樹、野菜	0.40 ha	ha	水稲、果樹、野菜	0.40 ha	ha	認農4	
5	認農 認定農業者5	水稲、小麦、そば	0.24 ha	ha	水稲、小麦、そば	0.24 ha	ha	認農5	
6	集 集落営農組織1	水稲、小麦、WCS	31.19 ha	ha	水稲、小麦、WCS	31.19 ha	ha	集営1	
7	集 集落営農組織2	水稲、小麦	5.32 ha	ha	水稲、小麦	5.32 ha	ha	集営2	
8	集 集落営農組織3	水稲、小麦、牧草	2.70 ha	ha	水稲、小麦、牧草	2.70 ha	ha	集営3	
9	集 集落営農組織4	水稲、小麦、そば	1.05 ha	ha	水稲、小麦、そば	1.05 ha	ha	集営4	
10	利用者 農地利用者1	水稲	1.62 ha	ha	水稲	1.62 ha	ha	利用者1	
11	利用者 農地利用者2	水稲	0.59 ha	ha	水稲	0.59 ha	ha	利用者2	
12	利用者 農地利用者3	水稲	0.59 ha	ha	水稲	0.59 ha	ha	利用者3	
13	利用者 農地利用者4	水稲	0.57 ha	ha	水稲	0.57 ha	ha	利用者4	
14	利用者 農地利用者5	水稲	0.39 ha	ha	水稲	0.39 ha	ha	利用者5	
15	利用者 農地利用者6	水稲	0.37 ha	ha	水稲	0.37 ha	ha	利用者6	
16	利用者 農地利用者7	水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	利用者7	
17	利用者 農地利用者8	水稲	0.27 ha	ha	水稲	0.27 ha	ha	利用者8	
18	利用者 農地利用者9	水稲	0.25 ha	ha	水稲	0.25 ha	ha	利用者9	
19	利用者 農地利用者10	水稲	0.17 ha	ha	水稲	0.17 ha	ha	利用者10	
20	利用者 農地利用者11	水稲	0.17 ha	ha	水稲	0.17 ha	ha	利用者11	
21	利用者 農地利用者12	水稲	0.17 ha	ha	水稲	0.17 ha	ha	利用者12	
22	利用者 農地利用者13	水稲	0.13 ha	ha	水稲	0.13 ha	ha	利用者13	
23	利用者 農地利用者14	水稲	0.10 ha	ha	水稲	0.10 ha	ha	利用者14	
24	利用者 農地利用者15	水稲	0.07 ha	ha	水稲	0.07 ha	ha	利用者15	
25	利用者 農地利用者16	水稲	0.00 ha	ha	水稲	4.00 ha	ha	利用者16	調整中

日詰地区 目標地図

